
ホワイトクリスマス

りらいず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ホワイトクリスマス

【Nコード】

N7037P

【作者名】

りらいず

【あらすじ】

ホワイトクリスマスに起きた、ちょっと不思議な出来事

12月25日 土曜日 天気：雪 22：53：35 投稿

今日は、朝から雪が降っていました

世間は「ホワイトクリスマス」と浮かれています

私は雪が嫌いです。

訂正します、大嫌いです。

なぜなら、雪は私からいろんなものを奪っていったからです。

今日は、このブログを見てくださってる方々に

私の過去についてお話ししようかと思っています。

私の両親は、とても気さくで、優しく、時には厳しくて

私の自慢の両親でした

母はいつもにこにこ笑顔で

すこし天然なところもありました

父は私たち娘にはとっても優しく

頭をぼんと優しくたたいてくれるのが、とても好きでした。

でも、5年前。ちょうど今日・・・12/25に

私の両親は亡くなりました

交通事故です。

それが、ただの交通事故なら、私も雪嫌いにはならなかったのですが

雪崩だったんです。その事故は

緩い傾斜の雪道を走っていたときの事故だったそうです。

幸い、私と姉はそのとき留守番をしていたので

死なずには済んだんですが

そのときのショックはとてはかりきれないものとして、今も心に残っています。

現在私は、姉と二人暮らしをして、円満に暮らしていますが

いまでも、やはりあの雪崩事故のことが忘れられず

ついには雪が嫌いになってしまいました。

去年、会社へ行く途中の雪の降る道で

近所の子供たちが雪合戦をしていて

その雪玉が私にぶつかったというエピソードがあるのですが

そのとき私は尋常じゃないほどパニック状態に陥ってしまい

救急車を呼ばれるはめになってしまいました（苦笑）

・・・なんか、ものすごく暗い話になってしまっでごめんなさい。

どうしてこんな暗い話をしているかということ

この記事が、このブログの最後の記事だからです。

今、私は会社のビルの屋上にいます

この記事を投稿したら、飛び降りるつもりです

もう、耐えきれないんです

両親を失ったことや、雪を見るだけでこんなパニックになってしま
うこと

そしてその様子を陰で笑っている同僚たち

雪のせいで、私の人生はめっちゃめっちゃになりました

それなら・・・雪の上で死んでやろうと思いました。

皆さん、今までこのブログをご観覧くださいまして、ありがとうございます。

どうかお元気で

- - - - -
- - - - -
- - - - -

そこまで携帯のボタンを打つと、私は送信ボタンを押した。

- 送信完了 -

これで、記事は更新されたはずだ

遺書はできあがった。もう思い残すことはない

私は屋上の端にのぼった。

街を彩る夜景が綺麗・・・

その間にちらつく雪が憂鬱な気分になせるけど

深呼吸して、私は足を踏み出した

と、思ったのだが

足を出そうとした瞬間、メールが届いた

「うわっ！」

私は驚いて、後ろに倒れ込んでしまった

「もう・・・なに！？こんな時くらい一人にさせてよ」

と、誰も居ない屋上につぶやきながら、メールを開いた

・ブログにコメントがきました・

ブログにコメント・・・？

ああ、さっき投稿した記事にか

あんなイタい記事に、よくコメントしてくれる人がいるな、と

冥土の土産にそのコメントを読むことにした

『件名：優子へ 内容：お願い、死なないで。あなたは私たちの光だから。あなたの両親より』

・・・馬鹿げてる

私は、そう思った

きっと、何かのいたずらだろうと・・・

しかし、そこには「優子」と・・・私の本名が書いてあったのだ

どうせ、姉だろう。と私はそう思ったが

もう、目からは涙があふれていた

たとえば、姉だとしても

あの自分勝手な姉が、こんな小細工をしてくれたなんて・・・

そして・・・もし姉じゃないなら

このブログの存在を知っていて、なおかつ私の本名を知っているのは

・・・両親だけ

(・・・サンタからの、プレゼントかしら)

なんて、自分でも幼稚だと思う考えをしながら

私は、屋上へ続く非常階段を降りていった

(・・・こんなコメントされて、死ぬ気になれなくなったじゃない)

私は、自殺を止めたサンタクロースを恨みながら

同時に、感謝することにした。

（後書き）

クリスマス記念ということで！

初のブログ形式に挑戦してみました♪

なんか、最終的にベタになってしまってすみません（^ー^；）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7037p/>

ホワイトクリスマス

2010年12月31日03時30分発行